



東高校相撲部

全国選抜3連覇

個人も高木、川端3位

金沢学院東高校相撲部は3月21、22日に高知県で開かれた第60回全国高校選抜大会に出場し、団体3連覇を達成しました。個人でも高木立太選手(2年)が初優勝し、川端翔伍選手(同)が3位に入りました。5月の金沢大会連覇に向けて大きな自信につながるダブル優勝となりました。

南選手が大將戦に勝ち3連覇が決まった瞬間、歓喜の東高校メンバー = 高知県立春野総合運動公園相撲場(北國新聞社提供)

全国選抜3連覇を喜ぶ東高校メンバー。右から2人目が個人優勝した高木選手(北國新聞社提供)



金沢大会連覇に弾み

【東高校団体戦成績】

予選	3勝9点
	3-0 京都学園
	3-0 岡山理大附
	3-0 中部農林
決勝トーナメント	
1回戦	2-1 金沢市立工
2回戦	3-0 東洋大牛久
準々決勝	3-0 中部農林
準決勝	2-1 埼玉栄
決勝	2-1 鳥羽

大会3連覇は明大中野(第34回)以来2校目の快挙で、東高校勢の個人優勝は昨年の遠藤聖大選手に続く連覇です。団体予選は3勝9点の

栗津原、前川講師に博士号



栗津原講師



前川講師

金沢学院短期大学の栗津原理恵、金沢学院大学文学部の前川浩子の両講師は三月三十日までに、それぞれ学位と教育学の博士号を取得しました。栗津原講師の研究テーマは「ルチンタンパク質相互作用による機能特性変化の解明と調理への応用」です。解析困難であったソバの物性変動に、ソバポリフェノール

ソバの成分、摂食障害の研究で

が影響することを見出し、ソバの物性改善に対するルチンタンパク質相互作用の有効性を示しました。前川講師のテーマは「女性の摂食障害および体重や体形へのこだわり」に関する個人差の多面的検討。摂食障害の核心をなす「体重や体型へのこだわり」は、パーソナリティなどの遺伝的な特質とメディアや対人関係などの社会的要因との相互作用により生成されることを研究しました。

土付かずで通過しました。決勝トーナメントの1回戦では金沢市立工業を逆転で破って波に乗り、準決勝では強豪埼玉栄に逆転勝ちしました。決勝でも鳥羽を大將戦取り直しの末に下して栄冠を勝ち取りました。大澤恵介監督は「この3年で一番苦しい戦いだった。(金沢大会連覇に向けて)挑戦者の気持ちをお忘れず、一番一番を大事に戦いたい」と話しています。

経営情報学部6人卒業
金沢学院大学経営情報学部の学生六人が三月三十一日、石田寛人学長から卒業証書・学位記を授与され、卒業しました。これにより、金沢学院大学の平成二十年卒業生は合わせて三百六十五人となりました。



講師の中島氏に質問する教員 = 4号館講堂

FD研修で講演聴く
金沢学院大学のFD研修会は三月二十六日、4号館講堂で開かれ、前富山県立大学長で公立大学協会相談役の中島恭一氏が「学士課程教育の改革とFDの実質化」のテーマで講演しました。中島氏は、学士課程教育が質の維持・向上を図るべき重大な課題に直面していると指摘し、「学習を主体にした考え方で改革を進めることが大事である」と述べました。講演のあと、小委員会報告、学生アンケートの集計・分析報告がありました。